

公民館運営審議会令和2年度第1回水谷東地区会議 会議録

- 1 日 時 令和2年9月2日（水）午後5時～午後6時
- 2 場 所 水谷東公民館ふれあいサロン
- 3 出席委員 地区代表委員 田 中 洋 子
委 員 藤 井 文 則
委 員 会 津 貞 子
委 員 上 原 みつ子
- 4 説明職員 水谷東公民館 館 長 山 崎 哲 正
水谷東公民館 副館長 大 日 方 清 美
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 会議資料 資料1 令和2年度～新型コロナウイルス感染症対策に係る
公民館の対応について（報告）
資料2 利用者懇談会について（報告）

7 会議の概要

（1）開会

（2）あいさつ 館長

（3）報告事項

- ①令和2年度～新型コロナウイルス感染症対策に係る公民館の対応について
資料1に基づき、館長より報告。
- ・公民館利用について、6/16以降 定員の制限、調理実習及び会食禁止、フリースペースの利用禁止等 一部制限はそのままあり。
今後についても見通しがたたない。
 - 既に納付済の施設利用料については、振替や還付にて対応。
 - ・公民館事業についても、見通しが立たないので、そのときの状況により判断するしかない。

[質疑]

委員：公民館カフェは他館でもやっていないのか。

館長：他館でもやっていない。

文化祭については、他館も通常開催はできないが、それぞれのやり方を検討中。

②利用者懇談会について

資料2に基づき館長より報告。

- ・当初は4月開催予定だったが、6月7月の3回に分けての開催となった。
- ・コロナ関連の話が中心で、特に要望等はなかった。
- ・次回は、1月～2月開催予定。

[質疑]

委員：公民館登録団体数は何団体か？

館長：今年度は69団体

(4) 協議事項

①今期の取組みについて

公運審として審議すべき議題について、館長より説明。

- ・平成22年の答申から10年が経過。今後はこれまでの延長線上にはない新たな取組みを考えていく必要がある。
 - 新しい生活様式に適した公民館活動について
 - 新規利用者を増やすための戦略について
- を軸とし、公民館の役割、今後のあり方・方向性について新たに再構築する。
- 今期2年の取組みとしての水谷東公民館意見ということで、全体公運審会議で提案する。

②その他

[意見交換]

館長：新たな取組みとして考えられる意見を伺いたい。

委員：年齢の縦の繋がりを新しくつくることができないか。

小学生—中学生—地域の方のような

館長：まち協の青少年部会の部員は大人のみだが、そこに子どもが入って事業の計画をたてたりするのはどうか。

委員：3丁目のパトロールは小中学生が入って行っている。

館長：公運審の子ども版はどうか。公民館の子ども対象の事業は、ただ開催して終わってしまう。豆の木学校みたいに青少年が作り上げていくという形がいい。子どものうちから、公民館に慣れ親しんでもらう。

委員：文化祭では、小中学生は作品展示で参加しているが、以前は、小学生が「プルタグ集め」をやっていて、子どもたちがたくさん集まっていた。子どもが参加できるものがあつた方がいい。

委員：いかだラリーも以前は、育成会や学校での参加もあつたが、最近は無い。

館長：東っ子クラブは、R2. 3. 31 で解散し、今年はP T Aの中での活動になっている。公民館が協力してどうにか繋げられないかと考えている。

委員：卓球のサークルには、多くの男性が参加している。そういう方たちの力をどうにか引き出せないか。

委員：地域の職人が子どもたちに何かを教えてあげる、というのはどうか。

委員：公民館に来る人は女性が多いので、男性を呼び込みたい。

昨年開催の日曜あそぼうかいでの工作などいいのではないか。

委員：子どものニーズを考えると、地域の人に何を教えてもらいたいことがあるか、アンケート調査をしてみてもいいのではないか。

子どもも忙しいのが現状であるが。

委員：公民館児童室での子どもの楽しそうな雰囲気がすごくいい。子どもは自由あそびが好きなので、何か楽しいことを付け加えれば、集まってくる。

委員：子どもの得意なことを、お年寄りに紹介するというのはどうか。

以上、今後の参考として意見を伺った。

閉会 地区議長

※次回地区会議：11月25日（水）午後5時から